

5月25日学校を再開するにあたって

生徒の皆さんへ SHRの時間に少し時間をいただき、学校再開について副校長より話をします。

4月21日に休業措置が始まり、皆さんは毎日を家で過ごすことになりました。登校日は設けましたが、当初は課題提出や連絡などが中心でふだんの学校生活とは大きくかけ離れたものでした。先週は週3日の登校日を設け、金曜日は本当に久しぶりの6時間授業を実施することができました。

期間中幸いなことに丹後地域では感染が拡大するという状況は無く、感染拡大の危機という実感を持ちにくい部分がありました。しかし、現実には毎日家にずっといて、学校に行かない生活の中で、いろいろと感じ、考える部分があったらと想像します。お父さんやお母さんとの会話には「コロナのせいで仕事が大変だ」といった話題も出てきたに違いありません。

授業を受けることも友達と楽しくおしゃべりすることもなくなり、部活動もできず、日々の行動が大きく制限を受けた毎日でした。日々何を感じ、何を考えましたか？ また、毎日どのように行動していたのでしょうか？

登校した皆さんの何人かに、「休業中はどうだった？」と尋ねてみると、こうした非常事態の中でも学習課題に懸命に取り組んだり、家族のためにいろいろと家事をこなしたり、自分ができることにしっかりと取り組めた様子をうかがい知ることができました。よく考えて行動しているなあとうれしく思いました。

一人で学習課題に地道に取り組むことや生活リズムが崩れそうになるのをぐっと踏みとどまるのも大変だったことでしょう。こうした非常事態の中で改めて感じるのは、弥栄分校では生徒の皆さんが皆さんらしさを存分に発揮しやすい環境が構築されているということです。弥栄分校での先生方と生徒のみなさんとのふだんの非常にアットホームなやり取りを見ていて、それを強く感じます。それは教職員の力だけで作り出せるものではなく、生徒の皆さん自身も協力し、一緒に作り上げているということです。長い休業期間は、もちろんマイナス面も多くありましたが、逆に弥栄分校の教育活動を見直す機会ともなりました。ふだんの学校生活、ふだんの自分自身を見直す機会を与えてくれたのだと思います。

学校は再開しますが、改めて感染拡大防止について意識を高めてもらいたいと思います。3密（密閉・密集・密接）を避けること、マスクの着用や咳エチケットを徹底すること、接触感染や飛沫感染によるリスクを避け、新たな行動様式での学校生活を送ることが求められています。感染拡大防止について十分気をつけながら、これからの一日一日が充実したものとなるよう、皆さんが学校生活を過ごすことを期待しています。弥栄分校の教職員一同も、皆さんの高校生活をしっかりとサポートします。今日からまた新たな一歩を一緒に踏み出して行きましょう。

以上で放送を終わります。